

# Morin純銀粘土取り扱い説明書

## はじめに

### 純銀粘土とは？

見た目も手触りも粘土のようですが、焼成すると純銀に変化します。お子様からご高齢の方まで、どなたでも安心してお使いいただけます。

Morin純銀粘土は、貴重な銀の結晶を余すところなく使い、自由な表現を可能にする、他に類を見ない純銀粘土です。

## Morin純銀粘土の特徴

- ・繊細な模様も美しく転写できます。
- ・乾燥後も水に浸し練り込むだけで元の状態に戻ります。
- ・乾燥後のひび割れや傷は、濡らしたコットン、耐水ペーパー、スポンジ研磨剤で整える。又は、指先を水で湿らせて該当箇所をなでる事で修復可能です。
- ・Morin純銀粘土だけで、ペーストタイプ、シリンジタイプ等お好みの純銀粘土を作る事ができます。
- ・焼成時間が短く、焼成後は高い硬度と美しい鏡面光沢が得られます。

## 1. 造形

パッケージから取り出したら粘土を手で練り込み作品作りをしていきます。乾燥した場合は水を少量加え、再度練り込みます。

指輪をつくる時(別売りのリング焼成芯材または木芯棒をご使用下さい。)

自分の指のサイズより+5号～8号大きいサイズで造形して下さい。

(例:10号サイズの指輪をつくる時は、15～18号のリングサイズで造形します。)

銀粘土の量、大きさ、形、焼成温度、時間により収縮率は異なりますが、焼成後製品は約8～16%程縮みます。

リング焼成芯材(日陶科学(株)別売商品)を使用すると変形しにくく、お好みの形、号数をつくる事が可能です。

純銀粘土専用合成石は同時焼成可能です。

## 2. 乾燥

### ドライヤー乾燥の場合

温風乾燥で30分程度。(作品の厚さやサイズによって乾燥時間が異なります。)

乾燥後もやや弾力がある場合があります。

厚みのあるものや15g以上のリングや作品の場合は1時間以上温風乾燥を行って下さい。

### ホットプレート乾燥の場合

保温30分程度。(作品の厚さやサイズによって乾燥時間が異なります。)

130℃以上の設定にしないでください。

※ホットプレートの機種によっては130℃の設定でも150℃以上になる事があります。



### 乾燥時の注意点

- ・雨の日のように湿度が高い時、室温が低い時は乾燥時間を長めにお願いします。
- ・作品を乾燥する時、作品が130℃以上にならないようにお願いします。破裂、ひび割れ、お餅のように膨らむ恐れがあります。
- ・乾燥体は落とすと割れるのでご注意ください。

### ☆乾燥して硬くなったMorin純銀粘土を再生する方法☆

①乾燥体に水を加えてラップで包みます。

②ジッパー付きの袋に入れ、空気を抜いてジッパーを閉めます。

※水を入れすぎるとペーストになる為注意が必要です。

## 3. 研磨

スポンジ研磨剤(やすり)で磨き整えます。

研磨中は紙マスク、防塵カバー等ご使用ください。微粉末が飛ぶ恐れがあります。

## 4. 焼成

しっかり乾燥させてから焼成してください。

作品に水分が残っていると、焼成中にお餅のように膨らんだり、ひび割れの原因になります。

## 電気炉で焼成する場合

常温の電気炉に乾燥体を入れて900℃まで昇温します。  
昇温するまで約20分かかります。(日陶科学(株)の小型電気炉の場合)  
そして、900℃になってから5分～10分焼成します。

〈焼成〉参考:重さ5gまでの造形品の焼成時間の目安です。  
常温より電気炉に入れます。

600℃ 30分

800℃ 20分

850℃ 10分～20分

900℃ 5～10分

SV925・SV950※との同時焼成は600℃で30分

※SV925・SV950:市販のシルバーチェーンなどのシルバー製品

900℃より高い温度で焼成しないでください。(900℃はOK)

## 簡易焼成器具で焼成する場合

シルバーポット、シルバーミニポット(日陶科学(株)製)で焼成する時:固形燃料が燃え尽きたら焼成終了。

ミニパン(日陶科学(株)製)で焼成する時:カセットコンロで、中火～強火5～7分で焼成終了。

強力ガスバーナーでも焼成可能です。

## 5. 焼成後の磨き

焼成後は、真っ白に焼きあがります。ステンレス刷子で銀肌を出し、磨きヘラで磨き仕上げて完成です。

### ☆残ったMorin純銀粘土の保管方法☆

空気に触れないように密封袋(容器)で保存して下さい。

未開封の場合、通常2～3ヶ月保管可能ですが、なるべくお早めにご使用下さい。  
(硬くなっても水で粘土に戻せます。)

直射日光、暑い室内や車中等は避けて下さい。

## 注意事項

- 体質によって、かゆみ、かぶれを生じる場合がありますので、皮膚、人体に異常を感じた場合は直ちに使用を中止していただき、専門医にご相談ください。
  - 目に入れたり、口に入れたりしないでください。
  - 使用後は石鹼等で手をよく洗い、うがいをしてください。
  - 造形後の研磨(焼成前乾燥体・焼成後)は、マスク、防塵カバー等ご使用ください。微粉末が飛ぶ恐れがあります。
  - 焼成時にバインダーの成分により煙、ガスが発生する事があります。必ず室内の換気を十分に行ってください。
  - ホットプレートやドライヤーで乾燥後、焼成後は十分に焼成器内で冷却させ作品が冷めてから取り出し、火傷等けがのないようお気をつけ下さい。
  - 小児の手の届かないところに保管して下さい。
- 上記の取り扱い方法を守り、通常目的以外でのご使用は絶対にしないでください。

粘土の製造工程で多少黄ばむことがございます。

パッケージを開けた際、Morin純銀粘土が黄ばんでいても品質に影響することはありません。

焼成後、黄ばみは無くなり、作品にも影響はありません。

企画・製造

日陶科学株式会社

〒461-0025

愛知県名古屋市東区徳川2-18-3

TEL:052-935-5020 FAX:052-935-8982

工芸部E-mail : kougei@nittokagaku.com